

現場チェックシート（1/3）

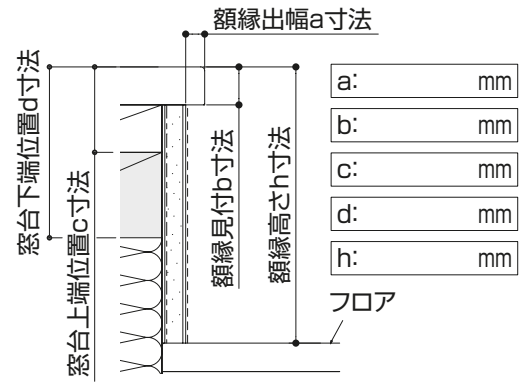
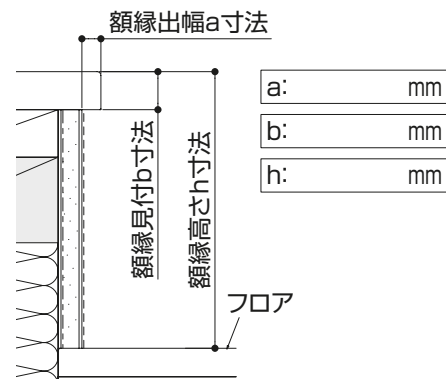
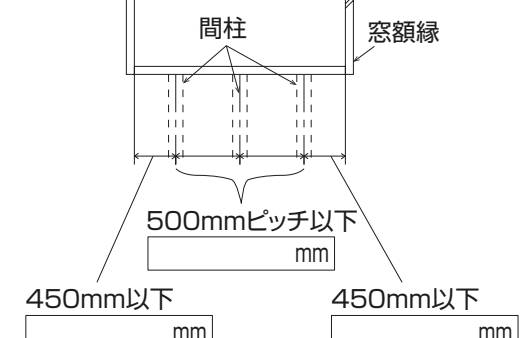
コピーして、調査結果を記入してください。

外窓の窓種	☐ 外窓は内窓を取付可能な窓種である	
窓台強度の確認	☐ 窓額縁への補強が不要 （下記①～③がすべて当てはまる） ☐ 補強が必要 （下記①～③のうち当てはまらないものがある）	
	☐ ①窓額縁の傷み（腐朽・割れ）傷みはなし ☐ ②窓額縁は窓台にしっかり固定されている ☐ ③外窓下枠アングルねじの緩みはなし	
内窓取付部の確認	☐ 窓額縁はねじがきく ☐ クロス納まりの場合：下地がある ☐ 窓額縁見込寸法20mm以上	
	窓台見込寸法A= mm ☐ $60 \leq A$ （通常納まり） ☐ $35 \leq A < 47$ （ふかし枠25） ☐ $47 \leq A < 60$ （枠持ち出し納まり） ☐ $20 \leq A < 35$ （ふかし枠40）	
	外窓クレセントとの干渉確認 内召合框から窓額縁室内面までの距離B= mm クレセント柄の内召合せ框からの出寸法C= mm クレセント柄側面から内召合せ框中心までの距離D= mm ☐ 干渉なし ☐ 干渉あり（内窓逆勝手が必要） ☐ 干渉あり（ふかし枠が必要）	
	カーテンレール・ブラインドとの取合い確認 ☐ 干渉なし ☐ 干渉あり（移設） ☐ 干渉あり（カーテンレール対応枠必要）	
	和室：既存の和障子を使わない場合 ☐ オプション手配不要 ☐ オプション手配必要 ☐ 和室用埋木スペーサー ☐ 額縁段差スペーサー ☐ 和室用取付ねじ	
	和室：既存の和障子を使う場合 ☐ ふかし枠もしくは現地造作で納められることを確認	
開口部の計測	幅・高さの3カ所のうち最小寸法がKW・KHとなります。 ◆既設窓枠開口幅 ◆既設窓枠開口高 ◆既設窓枠対角寸法	
	既設開口部の寸法差（3mm）・たわみ状態（±1.5）・対角差（3mm）の確認 ☐ 範囲内 ☐ 範囲外（オプション手配必要） ☐ 調整ライナー ☐ 施工調整スペーサー※ ☐ 調整材 ☐ レール端部スペーサー	
操作部品の位置	クレセント位置B= mm ☐ オーダー範囲内 ☐ オーダー範囲外 中棧位置C= mm ☐ オーダー範囲内 ☐ オーダー範囲外	

※すき間のシーリングが必要です。

現場チェックシート (2/3)

コピーして、調査結果を記入してください。

ふかし枠補強要否	ふかし枠25四方の場合 ☐ ①窓額縁に傷み（腐朽・割れ）がないこと ☐ ②窓額縁が窓台にしっかり固定されていること ☐ ③窓額縁にねじがきくこと ☐ ④障子吊込みによる下枠垂下り量2mm以下であること ☐ ふかし枠補強が不要 (①～④がすべて当てはまる) ☐ ふかし枠補強が必要 (①～④のうち当てはまらないものがある) (またはふかし枠40四方の場合)
ふかし枠補強の仕様	☐ ふかし枠補強が取付できる下地がある ☐ 補強角パイプ仕様が取付可能 (下記①～⑥がすべて当てはまる) ☐ ① 木造納まりであること ☐ ② 額縁出幅 (a寸法) が $0 \leq a \leq 23$ であること ※ふかし枠25は $5 \leq a \leq 17$ ☐ ③ 額縁見付 (b寸法) が $20 \leq b \leq 26$ であること ☐ ④ 額縁高さ (h寸法) が $h \geq 100$ であり、補強部品が取付可能な内壁面があること ☐ ⑤ 下地材と内壁の間にすき間が無いこと ☐ ⑥ 窓台位置 (c寸法、d寸法) が、補強材が窓台に取付可能な条件 (窓台位置条件表参照) を満たしていること ☐ 補強角パイプ仕様が取付不可 (下記①～⑥で当てはまらないものがある)  a: mm b: mm c: mm d: mm h: mm ☐ ブラケット仕様が取付可能 (下記①～⑥がすべて当てはまる) ☐ ① 木造納まり、またはRC納まりであること ☐ ② 額縁出幅 (a寸法) が $0 \leq a \leq 23$ であること ※ふかし枠25は $12 \leq a \leq 23$ ☐ ③ 額縁見付 (b寸法) が $b \geq 20$ であること ☐ ④ 額縁高さ (h寸法) が $h \geq 230$ であり、補強部品が取付可能な内壁面があること ☐ ⑤ 下地材、または構造体と内壁の間にすき間がないこと ☐ ⑥ <木造納まりの場合> 間柱間隔条件にあった間柱があること ☐ ブラケット仕様が取付不可 (下記①～⑥で当てはまらないものがある)  a: mm b: mm h: mm  間柱 窓額縁 500mmピッチ以下 450mm以下 450mm以下